

第 8 表

府県別上水道等の給水人口・普及率

「上水道業務統計調査」および「全国水道施設調査」による。年間の数字は年度間の実績を、その他の項目は年度末現在を示す。
用途別年間給水量の内家庭用、集合を含み内事業用は営業用と工場用とを合したものである。なお普及率は給水人口を総人口で除したものである。四捨五入のため内訳と計が一致しない場合がある。

府 県	上 水 道							簡 易 水 道		専 用 水 道	
	管路延長 千 m	給水人口 千人	用途別年間給水量 千 m ³			1日当り 最大普及率 給水量 千 m ³	普及率 %	給水人口 千人	普及率 %	給水人口 千人	普及率 %
			総 数	(内)家庭用	(内)事業用						
昭 和 47 年	198 312	90 477	7 237 042	4 535 431	1 733 835	37 168	74.1	8 885	8.3	2 104	2.0
北 青 海 道	8 314	4 069	187 185	90 507	57 624	1 159	65.7	485	9.3	164	3.2
	2 438	1 116	63 734	34 485	12 645	284	61.9	217	15.2	12	0.8
	1 709	779	43 180	18 606	9 999	206	43.4	164	12.1	24	1.8
	3 457	1 492	59 641	30 119	17 348	483	70.4	170	9.2	17	0.9
	1 509	807	38 423	17 614	8 820	196	43.5	251	20.4	22	1.8
山 形 県	2 926	913	34 478	18 126	7 927	300	63.3	137	11.3	8	0.7
	3 150	1 314	39 227	19 026	11 767	415	56.1	190	9.8	36	1.9
	2 225	1 201	47 482	37 096	4 339	303	38.0	297	13.5	64	2.9
	2 188	900	72 751	37 446	24 703	347	48.2	85	5.2	32	2.0
	3 903	1 502	106 931	66 107	29 423	537	71.7	279	16.5	7	0.4
埼 玉 県	9 409	3 806	305 961	228 272	48 688	1 350	84.4	141	3.3	63	1.5
	7 395	2 802	212 847	185 580	12 573	912	70.2	103	2.8	122	3.3
	15 627	11 332	1 325 710	1 059 190	141 510	5 917	95.9	40	0.3	234	2.0
	11 052	5 796	732 555	407 658	251 052	3 029	93.2	71	1.2	228	3.9
	5 859	1 957	124 547	85 853	18 212	762	71.1	275	11.7	7	0.3
宮 城 県	2 688	796	54 581	28 976	15 253	281	64.8	106	10.2	13	1.2
	2 788	838	74 853	40 681	26 171	395	70.4	109	10.7	9	0.9
	1 742	596	39 864	23 840	10 657	202	55.1	172	22.9	10	1.3
	1 087	652	19 095	11 332	4 748	214	53.5	240	31.3	2	0.3
	5 653	1 708	128 804	64 634	45 370	640	69.0	335	17.0	9	0.5
岐 阜 県	3 109	1 365	62 319	38 903	9 306	406	54.0	340	18.9	55	3.1
	7 065	2 840	229 891	131 315	64 580	1 152	74.4	433	13.6	41	1.3
	13 875	5 376	496 375	330 709	120 939	2 200	86.3	352	6.2	161	2.9
	3 623	1 320	97 320	47 932	38 298	525	60.9	320	20.3	42	2.7
	2 556	793	54 337	36 279	11 925	270	69.5	136	14.7	14	1.5
京 都 府	3 330	2 157	42 662	25 617	10 373	963	84.9	180	7.8	14	0.6
	11 434	7 892	1 072 016	501 454	403 949	4 638	98.7	15	0.2	35	0.4
	8 687	4 553	182 942	97 581	25 242	1 955	86.9	298	6.2	80	1.7
	2 766	861	29 795	22 244	4 776	329	77.7	62	6.3	28	2.8
	1 731	819	75 457	41 162	21 562	369	66.9	106	10.2	9	0.9
鳥 取 県	827	483	36 801	26 735	4 359	171	62.4	118	20.7	11	1.9
	1 417	535	32 840	17 310	10 896	151	48.4	157	20.6	7	0.9
	5 497	1 362	122 817	77 574	29 442	623	69.2	135	7.7	17	1.0
	4 634	1 895	201 514	120 627	60 790	873	53.1	126	5.0	29	1.1
	2 328	1 139	79 618	31 817	34 594	583	64.6	131	8.6	27	1.8
徳 島 県	1 728	590	43 580	24 014	8 236	215	59.9	96	12.2	21	2.7
	2 537	725	48 075	25 601	15 579	278	73.8	30	3.2	14	1.5
	2 202	1 090	64 215	36 670	14 468	295	53.1	289	20.3	44	3.1
	1 039	566	44 800	32 878	3 680	215	48.4	176	22.3	10	1.3
	6 980	3 200	158 320	100 368	40 888	1 184	70.8	90	2.2	217	5.3
佐 賀 県	1 548	577	28 012	17 530	4 788	167	54.7	112	13.6	13	1.6
	2 285	1 272	71 830	49 463	10 569	329	59.3	341	22.0	11	0.7
	2 011	1 021	60 659	49 259	2 535	305	42.8	249	14.8	55	3.3
	1 881	808	55 424	49 309	2 819	267	52.5	164	14.1	35	3.0
	2 818	746	41 622	33 844	2 645	232	59.6	97	9.3	25	2.4
鹿 児 島 県	3 387	1 244	38 409	24 381	6 894	329	52.4	346	20.4	10	0.6
	1 903	872	53 538	39 707	10 874	210	77.9	116	12.0	-	-

資 料 厚生省環境衛生局「水道統計」

第 11 章

運 輸、通 信

第11章 運輸および通信

道路概況

府下における昭和48年3月31日現在、道路法の適用される国道以下各道路の実延長は、1万5,224 kmで、うち規格改良済道路が実延長の50.2%をしめ、本年度ようやく50%に達した。また舗装道路は9,219.2 kmで、前年に比べて6.3%の増加となり、未改良道路の実延長は7,583 kmと前年より65 km (0.9%)の減少をみせて、年々改良率が増加の傾向にある。

一方、周辺都市に所在する主要駅附近の、平面鉄道が交差する道路の交通安全が重視され、その対策として立体交差化がすすめられており、いわゆる「魔の踏切」の消滅後は、道路事情が一段と好転して、人、車の流れが良くなるものと期待されている。

自動車

昭和48年度末における府下の自動車登録台数は126万2千台となり、前年に比べ9.2%の増加となった。市郡別に増減をみると、大阪市の2万7.3千台増を初め、堺市1万1.6千台、東大阪市8.9千台、高槻市5.4千台、八尾市5.4千台、南河内郡5.1千台、枚方市5.0千台、(以下略)と依然増勢をみせているものの、池田市で490台、大東市500台、四条畷市850台、と3市ではわずかながら減少となった。

一方、府下の自動車交通量は、オイルショックに続き徐々にあらわれはじめた景気後退の影響もあり、大阪市内の交差点における1分間の平均交通量は、47.6台で前年の52.7台を下回ったが、市外では逆に55.6台と前年の52.3台を若干上回っている。交差点別に昼間(7時~19時)12時間値でみると、守口市の大日交差点で(200.3両)、東大阪市荒本(167.1両)、門真市門真南(163.7両)、吹田市千里IC(158.1両)、安田東(149.2両)、豊中市豊中IC(147.7両)、阪神前(119.3両)となり、昨年度に比べ豊中IC、千里IC両インターチェンジが増加したほかは、5交差点とも減少となった。本年度に、はじめてスクランブル方式を実施した交差点(北大阪十三交差点)があらわれた。これは交差点の自動車向けの信号を全部赤にして、一時交差点内を歩行者がいずれの方向か

らでも自由に歩いて渡れる。

また、交通停滞状況は、16,905回となり44年以降では最多回数を記録した。月別では3月の1,915回をトップに、1,500回以上が4月、10月、12月、11月の順になり、最少回数の8月をみても1,017回と千回以上となっている。

鉄軌道

各ターミナルの1日平均乗車人員をみると、北大阪の国鉄大阪駅、阪急梅田駅、阪神梅田駅3駅とも46年度以降大差のない数字が続いている。一方、南大阪では、近鉄阿倍野橋駅が11万6千人と前年より約2万人の増加をみせたほかは、国鉄天王寺駅、南海難波駅も若干の増加にとどまり、国鉄鶴橋駅、京橋両駅も前年と大差のない数字となっている。大阪市の地下鉄は、建設が進んでいるものの48年度中の開通はなく、従って営業キロ数は前年度と変わらず、乗車人員は総数で1千200万人(前年比2%減)減少した。そのうち定期乗車人員が若干の伸びをみせている。

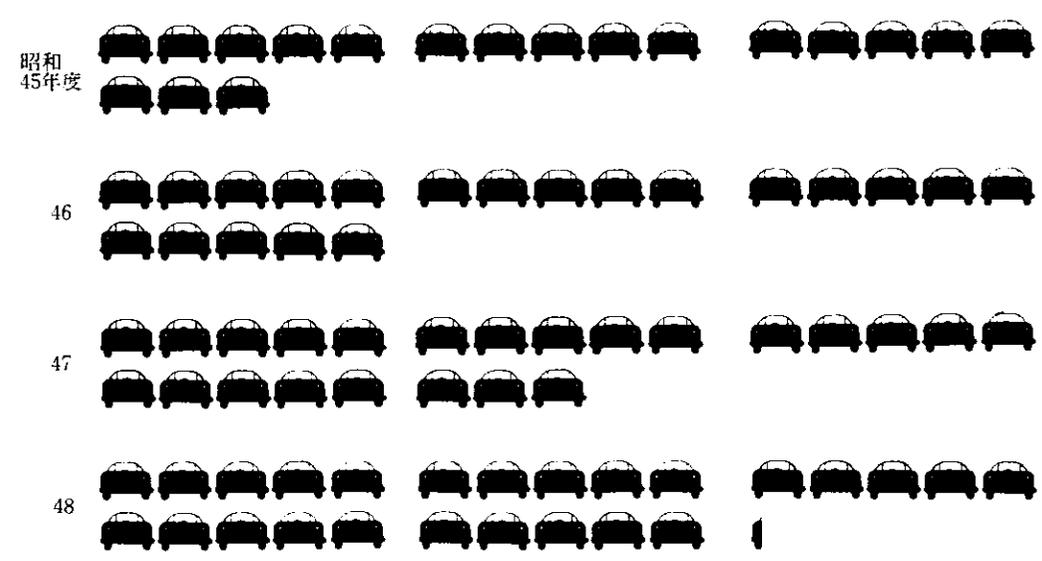
海上・航空輸送

昭和48年度の海上出入貨物数量は、輸移出入総量で1億6,335万トンとなり、そのうち輸移入貨物が69%をしめている。また輸移入品目では鉱産品40%、金属機械工業品30%、化学工業品21%が全体の90%となっている。

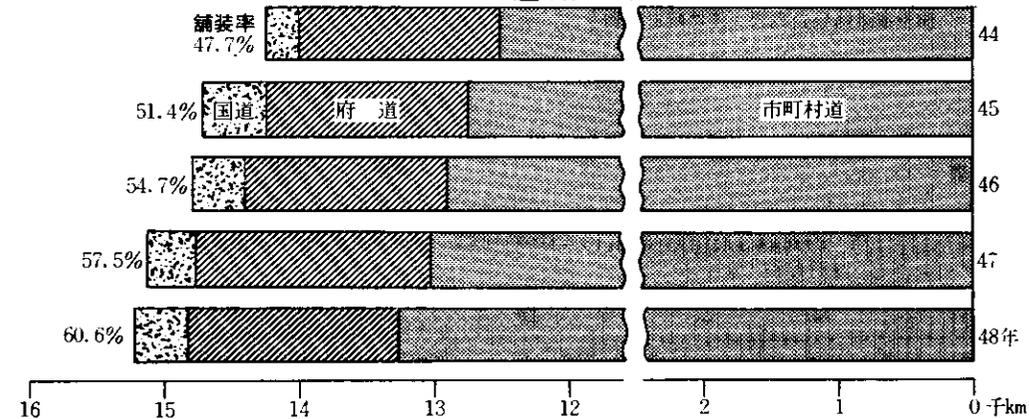
港別では、堺泉北港が順調な伸びをみせて7,600万トン、次に大阪港の7,550万トンと前年度より、わずかながら大阪港を上回る増加となっている。また近年カーフェリー輸送が、著しい進展をみせており、それに対処するため堺泉北港では、カーフェリー専用埠頭、第1バースを完成させて今後の海上交通に備えている。

一方、大阪空港における昭和48年度の旅客、貨物数は、ともに前年の20%をこえる増加となった。旅客数を国内線と国際線にわけると国内線1千79万人(前年912万人)、国際線124万人(同89万人)となって、その割合は前年と同じく10人中9人が国内線の利用客である。

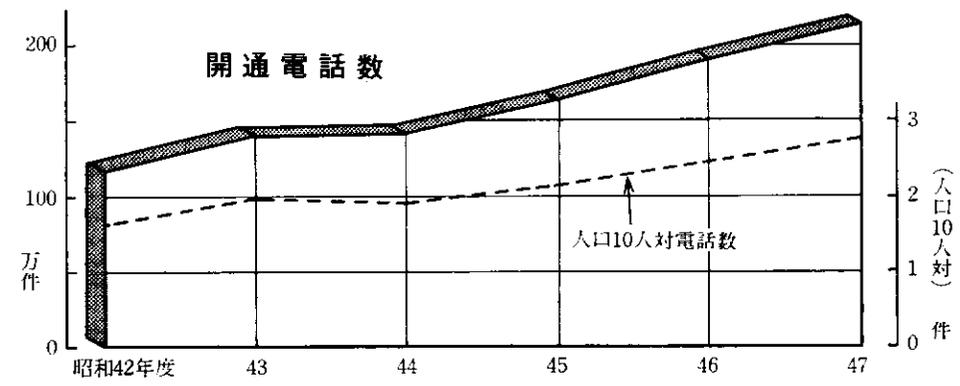
自動車の登録台数



道路の概況



開通電話数



第1表

一般国道・府道

本表は道路法の適用される標識の道路の各年3月31日現在のものである。なお、道路の実延長とは総延長（指定・認定された路線自動車交通不能は幅員、勾配その他の状況により最大積載量4トンの普通貨物自動車が行き来できない区間である。a）には主要市道

道路別	実延長			種類別内訳						幅員		
	総数	規格改良	未改良	道路	橋りょう		トンネル		規格改良済			
		済延長	延長		橋数	延長	個数	延長	車道	車道	車道	
km	km	km	km	個	km	個	km	7.5m以上	5.5m以上	5.5m未満		
昭和44年	14 251.0	6 492.7	7 758.3	14 162.5	6 858	86.2	16½	2.3	1 477.9	1 928.4	3 086.4	
45	14 663.4	6 937.6	7 725.8	14 514.5	7 002	144.2	20	1.7	1 679.2	2 032.7	3 225.7	
46	14 764.4	7 168.3	7 596.1	14 600.9	6 877	161.8	21	1.7	1 768.1	2 108.4	3 291.8	
47	15 089.2	7 440.9	7 648.3	14 915.9	6 376	172.0	14	1.3	2 307.1	2 395.7	2 738.1	
昭和48年	15 223.8	7 641.0	7 582.8	15 056.6	5 748	165.8	16	1.4	2 494.0	2 378.0	2 769.0	
国道総数	364.8	355.0	9.8	343.6	370	21.0	2	0.2	265.7	80.0	9.3	
府道総数	1 508.4	1 290.2	218.2	1 419.4	1 267	87.9	11	1.1	535.8	562.1	192.3	
a) 主要地方道	644.5	592.4	52.1	614.2	654	29.7	7	0.6	343.4	216.6	32.4	
主要地方道以外	863.9	697.8	166.1	805.2	613	58.2	4	0.5	192.4	345.5	159.9	
市町村道総数	13 350.6	5 995.8	7 354.8	13 293.6	4 111	56.9	3	0.1	1 692.5	1 735.9	2 567.4	

資料 建設省道路局企画課「道路統計年報」

第2表

橋りょう数

本表は各年3月31日現在の橋長2メートル以上のものに関する現況調べでa)には主要市道を含む。46年の種類別内訳には、まない。

道路別	総数									
	総数		100m以上		30m以上		100m未満		15m未満	
	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長
昭和44年	6 848	86 241	89	24 507	333	14 525	981	17 588	5 445	29 621
45	7 002	144 175	130	74 862	372	20 137	896	17 954	5 604	31 222
46	6 954	162 836	123	51 756	260	31 770	717	26 788	4 908	28 522
47	6 465	168 632	163	101 715	399	20 086	861	18 292	5 042	28 539
昭和48年	6 337	163 296	148	95 760	300	15 142	394	8 610	1 539	9 333
国道総数	408	22 330	42	17 267	47	2 258	57	1 216	262	1 589
府道総数	1 300	89 255	88	73 240	132	6 736	189	3 974	891	5 305
a) 主要地方道	687	30 946	67	22 736	71	3 567	91	1 968	458	2 675
主要地方道以外	613	58 309	21	50 504	61	3 169	98	2 006	433	2 630
市町村道総数	4 629	51 711	18	5 253	121	6 147	148	3 420	386	2 439

資料 建設省道路局企画課「道路統計年報」・大阪府土木部道路課・大阪市土木局橋梁課調

市町村道の現況

の全延長)から重用延長(上級の路線に重複している区間の延長)および未供用延長、渡船場延長を除いた延長である。また、を含む。一路線中二つ以上のルートのあるものはすべて新道をとっているため、橋数は第2表の橋りょう総数とあわない。

別内訳	路面別内訳				砂利道	舗装道			渡船場		鉄道との交差(国・私鉄)	
	未改良		改良			総数	セメント系	高級アスファルト系	簡易アスファルト系	個数		延長
	車道	車道	車道	うち自動車交通不能								
4.5m以上	3.5m以上	3.5m未満	3.5m未満	所	km	所	km					
665.9	1 590.0	5 590.0	2 904.3	7 459.7	6 791.3	974.4	2 989.1	2 827.8	14	1.9	1 928	
653.5	1 548.4	5 523.9	2 532.6	7 123.8	7 539.6	927.9	3 560.7	3 051.0	14	1.9	1 952	
698.8	1 592.2	5 305.1	2 441.4	6 684.8	8 079.6	916.2	3 847.2	3 316.2	13	1.7	1 938	
710.4	1 557.4	5 380.5	2 456.1	6 412.6	8 676.6	902.9	4 412.8	3 360.9	14	1.9	1 969	
809.3	1 251.0	5 522.5	2 453.1	6 004.6	9 219.2	498.3	5 729.1	2 991.8	13	1.7	1 949	
4.3	2.8	2.7	-	11.5	353.3	37.4	315.9	-	-	-	83	
31.1	80.3	106.8	1.9	125.6	1 382.8	93.4	1 267.9	21.5	1	0.2	296	
5.6	17.9	28.6	0.7	56.9	587.6	52.1	534.6	0.9	-	-	149	
25.5	62.4	78.2	1.2	68.7	795.2	41.3	733.3	20.6	1	0.2	147	
773.9	1 167.9	5 413.0	2 451.2	5 867.5	7 483.1	367.5	4 145.3	2 970.3	12	1.5	1 570	

および延長

大阪市管理分を含まない。48年の市町村道種類別内訳には、大阪市以外の市町村の管理分を含む。

橋	鋼橋		コンクリート橋		鋼橋とコンクリート橋との混合物		木橋		石橋		鋼橋又はコンクリート橋と木橋又は石橋との混合物	
	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長
650	29 979	3 832	35 966	150	3 807	1 448	13 725	673	2 092	95	672	
666	77 817	4 012	39 708	174	10 666	1 328	12 848	732	2 220	90	916	
373	61 305	3 842	47 212	187	20 311	822	7 086	701	2 303	83	619	
704	87 877	3 866	45 385	227	23 946	801	7 677	796	2 292	71	455	
591	83 947	1 566	22 571	36	20 288	158	1 892	23	84	7	82	
91	14 476	304	4 295	11	3 536	-	-	1	3	1	20	
210	56 272	1 033	16 046	25	16 752	16	106	10	37	6	42	
126	16 627	518	9 728	17	4 432	15	98	6	25	5	36	
84	39 645	515	6 318	8	12 320	1	8	4	12	1	6	
290	13 199	229	2 230	-	-	142	1 786	12	44	-	-	

第 3 表

国有鉄道各駅別乗車人員、荷物数量

本表は、営業成績基準規定に基づく資料を集計したもので、乗継ぎ人員および新聞・雑誌扱いは含まれない。

線・駅名	乗車人員				手小荷物数			
	昭和48年度		昭和47年度		昭和48年度		昭和47年度	
	総数	定期率	総数	定期率	発送	到着	発送	到着
	千人	%	千人	%	千個	千個	千個	千個
東海道本線総数	197 834	62.0	194 580	63.1	1 586.6	2 675.2	1 227.0	2 616.2
高槻 津 富田	14 670	71.8	14 181	72.1	40.0	182.6	37.0	163.0
茨木 岸 木	7 309	74.2	7 609	75.6	19.4	95.1	18.0	84.0
千原 岸 木	13 495	69.4	13 068	70.2	47.7	153.7	45.3	133.1
岸 木 岸 木	8 878	69.9	8 869	70.6	16.6	13.0	16.0	12.0
岸 木 岸 木	3 565	72.3	3 557	73.0	0.8	0.5	1.1	0.4
吹東新大塚	9 371	65.6	9 771	66.2	82.2	348.4	76.2	322.1
淀大	3 530	67.8	3 704	69.1	-	-	-	-
阪本	13 320	16.9	12 133	17.8	79.7	13.1	63.3	14.0
	114 311	62.4	112 184	63.2	1 225.8	1 856.1	899.5	1 878.0
	9 385	68.7	9 504	69.3	74.4	12.7	71.2	11.0
環状線総数	248 396	64.9	242 036	65.3	309.4	33.9	291.5	28.3
福野西弁大	9 501	71.5	9 448	72.7	-	-	-	-
九天	6 215	68.2	6 368	69.2	38.6	3.5	40.2	3.0
	11 538	65.2	10 871	63.2	-	-	-	-
	11 956	65.6	12 025	65.2	31.4	1.5	31.1	2.2
	11 541	71.6	11 530	71.8	-	-	-	-
荻新寺桃鶴	4 238	68.2	4 553	68.0	-	-	-	-
原今田	22 477	62.8	20 352	63.3	-	-	-	-
	9 508	58.4	9 511	57.9	-	-	-	-
	9 676	62.2	9 506	62.4	76.7	10.7	71.1	9.0
	62 885	67.5	61 723	67.9	-	-	-	-
玉森京桜天	9 074	69.5	8 877	68.9	119.6	15.0	104.3	12.1
の の	10 662	61.4	10 232	62.3	-	-	-	-
	53 948	63.6	52 021	64.6	-	-	-	-
	5 264	63.0	5 350	63.5	-	-	-	-
	9 913	50.3	9 669	50.4	43.1	3.2	45.1	2.3
桜島線総数	7 984	93.6	8 101	93.8	7.6	2.0	8.1	2.1
安桜	4 909	94.6	5 002	94.9	6.3	1.8	7.1	1.5
治川口島	3 075	92.2	3 099	92.2	1.3	0.2	1.2	0.1
関西本線総数	96 136	64.6	93 522	65.4	327.3	152.5	1 205.1	260.4
河内堅	378	74.1	366	71.6	0.1	0.7	0.5	1.1
柏志八加	4 656	67.6	4 560	70.2	25.6	20.5	21.5	36.2
	2 885	66.2	2 795	66.4	-	-	-	-
	5 216	67.9	4 924	68.4	37.0	78.2	42.1	171.1
	3 430	67.6	3 292	68.9	-	-	-	-
平天今湊久	6 073	64.9	5 749	65.4	-	-	-	-
王	68 468	63.8	67 372	64.6	107.9	36.7	893.3	39.0
	352	61.4	345	63.2	64.5	1.2	53.0	1.2
	3 886	66.7	3 496	67.2	92.2	15.2	194.5	13.4
宝	792	64.5	623	66.8	-	-	-	-

第 3 表

国有鉄道各駅別乗車人員、荷物数量 (続)

線・駅名	乗車人員				手小荷物数			
	昭和48年度		昭和47年度		昭和48年度		昭和47年度	
	総数	定期率	総数	定期率	発送	到着	発送	到着
	千人	%	千人	%	千個	千個	千個	千個
片町線総数	43 930	70.0	43 272	70.9	213.2	661.8	252.1	591.1
長津河星忍	716	70.7	635	72.3	-	-	-	-
尾田船田丘	642	70.9	582	71.6	26.7	206.2	24.3	181.0
内 磐	687	71.6	531	69.5	-	-	-	-
ヶ	1 032	65.9	958	67.4	-	-	-	-
	1 568	71.9	1 527	73.5	-	-	-	-
四野住鴻徳	6 711	71.4	6 678	73.0	27.5	250.4	24.1	226.0
条 巖	2 682	66.0	2 462	64.4	-	-	-	-
野崎道田庵	7 480	70.0	7 447	71.0	19.2	10.2	19.3	9.0
池 新	5 975	70.4	6 005	71.4	-	-	-	-
	4 929	70.3	4 765	70.3	-	-	-	-
放鳴片	5 639	74.1	5 668	69.7	63.2	134.2	57.0	122.2
出野町	3 321	63.1	3 377	64.1	-	-	-	-
	2 548	80.7	2 637	82.0	76.6	60.8	128.1	54.1
阪和線総数	77 639	67.2	75 752	67.9	269.0	355.1	264.1	343.0
美南鶴長我	3 262	62.9	3 350	63.6	-	-	-	-
章田ヶ	3 107	62.4	3 102	63.1	-	-	-	-
園辺丘居町	2 922	67.5	2 956	68.5	-	-	-	-
孫 子	2 146	56.7	2 120	59.7	50.9	9.8	50.1	14.4
	3 059	63.1	3 168	64.0	-	-	-	-
杉浅塚三三	4 303	75.9	4 432	76.7	-	-	3.1	1.1
本 町	2 965	65.7	3 378	70.7	-	-	-	-
浅塚三三	8 993	67.1	8 475	66.1	38.5	39.9	36.1	71.3
国ヶ	6 642	73.4	6 461	73.7	-	-	0.3	0.4
舌 鳥	2 307	68.4	2 236	69.1	-	-	-	-
上津 野久鳳	3 730	70.2	3 623	70.5	-	-	-	-
富北 信	4 873	64.6	4 393	66.6	-	-	-	-
	6 140	65.8	6 010	66.1	38.3	157.2	37.0	124.0
	2 156	72.1	2 100	72.6	-	-	-	-
	3 016	67.3	2 566	66.9	8.0	7.3	8.0	4.1
信和久東東	2 214	61.5	2 222	63.4	7.0	1.4	8.0	1.1
泉 府	5 061	64.7	4 911	65.6	62.7	65.0	61.4	60.0
米 和	2 931	63.9	2 849	64.9	10.2	3.1	12.1	4.3
岸 貝	1 377	72.8	1 357	73.8	12.5	12.9	11.0	10.3
	723	68.5	745	70.3	13.0	17.0	13.2	16.1
和東熊日長	632	67.2	630	68.4	-	-	-	-
泉 橋	543	67.6	482	67.4	1.6	1.1	1.5	1.1
佐 根	1 512	74.7	1 405	74.6	6.3	3.9	6.3	3.0
	431	68.4	416	69.5	5.6	1.6	4.4	1.4
	382	73.8	383	73.4	-	-	-	-
新和山和	489	61.6	372	64.0	-	-	-	-
泉 砂	1 385	68.0	1 271	68.0	14.4	34.9	14.4	31.4
中 鳥	147	60.5	166	57.8	-	-	-	-
	191	67.5	173	65.3	-	-	-	-

第4表

国有鉄道各駅別貨物発送・到着数

前表頭注参照のこと。

Table with columns for line names, sending (件数, トン数) for昭和48 and 47 years, and receiving (件数, トン数) for昭和48 and 47 years. Includes sub-totals for various lines like 東海道本線, 環状線, etc.

第5表

府下私鉄各駅別乗車人員

南海電鉄は48年中の1日平均、阪急電鉄、京阪電鉄、阪神電鉄、近畿日本鉄道は交通量調査による。(印は乗換駅を表す。)

Table with columns for station names, passenger counts (乗車人員) categorized by total, regular, and irregular, and station names. Lists various private rail lines and stations like 阪急京都線, 阪急神戸線, etc.

第7表 主要旅行代理店の国鉄乗車券取扱数・荷物発送数

本表は、大阪鉄道管理局に登録された各旅行代理店営業所に関するもので、年度中の数字である。

Table with multiple columns for company names (e.g., 日本交通公社, 大阪新大), ticket handling counts for昭和48 and 47, and cargo shipment counts. Includes sub-sections for '乗車券取扱数' and '荷物取扱数'.

資料 国鉄大阪鉄道管理局経理部コンピューター課調

第8表 大阪市営電軌・バス車両数、輸送人員等

車両数、営業キロ数は各年度末現在数である。無軌道電車は45年6月15日全面廃止。

Table showing tram and bus statistics for Osaka City. Columns include year, vehicle count, operating kilometers, passenger counts, and revenue. Divided into '無軌道電車' and '高速鉄道' sections.

資料 大阪市交通局運輸計画課調

第9表 私営鉄道車両数、輸送人員等

44年度までは6社、45年度は8社、46年度は8社の大阪府内に本社を有する会社のものをまとめたもので、いずれも年度中のものであるが、車両数は各年度末現在の保有数で機関車、客車その他を含む。

Table showing private railway statistics including vehicle counts, operating kilometers, passenger and cargo transport figures, and revenue for years 44, 45, 46, and 48.

資料 大阪陸運局鉄道部

第10表 私営乗合自動車車両数、輸送人員等

車両数は私営・市営の合計で年度末現在数である。

Table showing private and municipal bus statistics including vehicle counts, total kilometers, passenger counts, and revenue for years 44, 45, 46, 47, and 48.

資料 大阪陸運局自動車部

第11表 主要交差点歩行者交通量

交差点別交通量調査の結果で、7時～19時の12時間について横断歩道通行者を方向別に調査したものである。ただし、難波西口については、西側および北側の欄の数字は南西側、北西側で調査した数字である。

Table showing pedestrian traffic volume at major intersections like Tennoji, Nishi-Umeda, and Naniwa, categorized by direction and year.

資料 大阪府警察本部「交通量統計表」

第12表 路線別・地点別交通停滞発生回数等

交通停滞とは500m以上の渋滞車列が30分以上継続した状態をいう。

Table with 14 columns: 区分, 総数, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月. Rows include 停滞回数 (昭和45-47年, 昭和48年), 路線別 (阪神高速, 国道, etc.), 地点別 (梅京守塚, 玉出福南, etc.), and 停滞時間数(時) (昭和45-47年, 昭和48年).

資料 大阪府警察本部「警察統計書」

第13表 大阪市内主要路線の車両交通量

主要路線について実施している路線別交通量調査の結果で7時~19時の12時間にわたり調査地点を通行した車両について往復の流れをそれぞれ一つとして計上したものである。なお、軽車両は自転車、荷車等のことである。

Table with 10 columns: 路線名, 調査地点, 自動車数(二輪車を含む), 乗用車(計, 普通車, 専用車, 自家用車), 貨物(計, 普通車, 専用車), 二輪車, 軽車両. Rows list various routes and locations like 国道176号線, 大阪環状線, 国道1号線, etc.

資料 大阪府警察本部「交通量統計表」

第14表

主要交差点別、時間別自動車交通量

自動車の調査対象区分別に交差点を直進、左(右)折したものに別して1日の各交差点、交通量を調査した。なお1時間毎のものを2時間にまとめた。

Table with columns for intersection names, total volume, and time intervals (7-9, 9-11, 11-13, 13-15, 15-17, 17-19, 19-21, 21-23, 23-1, 1-7). Rows include major intersections like 前目道町通, 目黒橋目, etc.

資料 大阪府警察本部「交通量統計表」

第15表

府県別自動車流出入交通量

自動二輪車を除く他府県自動車の1時間当りの交通量を府県別に調査した。

Table with columns for route names, intersection names, flow direction, and volume by prefecture (Total, Kyoto, Hyogo, Nara, Wakayama, Other). Rows include routes like 国道176号線, 大阪伊丹線, etc.

資料 大阪府警察本部「交通量統計表」

第16表

各年とも年度末現在数。ただし各年とも軽自動車を除く。自動車の種別は道路運送車両法に基くもので、自動車のうち小型とはエンジンの総排気量が360cc

Table with columns for City (市), Prefecture (郡), and Year (昭和46年度, 昭和47年度, 昭和48年度). Rows list various municipalities like 大阪市, 堺市, etc., and their respective vehicle counts.

資料 大阪府陸運事務所登録課調

第17表 旅客自動車輸送実績

自動車輸送統計(指定統計第99号)によるものである。自動車輸送実績は登録自動車を対象としており、軽自動車および小型二輪車の実績は含まない。なお、消防車、ブルドーザなども除いてある。

Table with columns for Year (年), Month (月), and Vehicle Type (乗客, 乗員). Rows show passenger and crew transport statistics for various years and months.

資料 運輸省「陸運統計月報」

自動車数

をこえて2,000cc以下のもの、普通はそれ以上のものとして大別される。なお、総数と市・郡の合計とが合わないのは総数の中に不明分が含まれているためである。

Table with columns for Vehicle Type (小型三輪, 小型四輪, 乗用車, 特殊用途, 大型特殊). Rows show counts for different vehicle categories and their sub-types.

第18表 貨物自動車輸送実績

前表類注参照

Table with columns for Year (年), Month (月), and Vehicle Type (普通車, 小型車). Rows show freight transport statistics for different vehicle types and months.

資料 運輸省「陸運統計月報」

第19表

大阪国際空港航空輸送量

Table with columns for year/month, total passengers, total cargo, domestic passengers, domestic cargo, international passengers, international cargo. Data spans from 1946 to 1948.

資料 運輸省大阪航空局大阪空港事務所調

第20表 船舶数

船舶船員統計調査規則に基づく近畿海運局管内の日本船舶に関するもので漁船を含まない。(各年7月1日現在)

Table showing ship statistics by year, including total number of ships, cargo ships, oil tankers, and other vessels.

資料 近畿海運局運送部輸送課調

第23表 海上出入

総数には尾崎港の数が含まれている。

Table showing maritime trade statistics by commodity type, including agricultural products, chemicals, and machinery.

資料 大阪府土木部港湾課「大阪府の港湾統計」、大阪市港湾局「港勢一斑」

第21表 入港船舶数

港湾統計調査(指定統計)による各年間の数字である、44年より汽船、機関船の区別なし。

Table showing the number of ships and total tonnage entering ports, categorized by port name and year.

資料 大阪府土木部港湾課、大阪市港湾局「港勢一斑」

第22表 大阪港の乗降船客数

45年の臨時線には、万国博覧会観光船を含む。

Table showing passenger statistics for Osaka Port, including boarding and disembarking numbers by route and year.

資料 大阪市港湾局「港勢一斑」

貨物数量

Table showing cargo volume statistics by port and commodity type, including tonnage and movement data.

第24表 国内郵便物数(引受)

府下の郵便局が引受けた国内向け郵便物数である。

Table with columns for years (昭和48, 47, 46) and categories (通常総数, 普通総数, 特殊総数, 小包総数). Includes sub-categories like '有料', '無料'.

資料 近畿郵政局調

第25表 外国郵便物数(引受)

府下各郵便局が外国向けとして引受けた郵便物数である。

Table with columns for years (昭和48, 47, 46) and categories (通常総数, 航空郵便, 船舶郵便, 小包総数). Includes sub-categories like '普通', '特殊'.

資料 近畿郵政局調

第26表 郵便局数

いずれも大阪府内に所在する各年度末現在数であるが、「窓口分室」は省いてある。

Table with columns for years (昭和45, 46, 47, 48) and categories (普通局, 特定局, 簡易局). Includes sub-categories like '総数', '集配', '無集配'.

資料 近畿郵政局「郵政経営統計」

第27表 電話の数

各年度末現在で、第二部管内の合計、ただし、44年度以後は兵庫県の一部を除く。第二部管内とは、大阪府全域のことである。

Table with columns for years (昭和47, 46, 45, 44, 43) and categories (開通電話総数, 加入件数, 公衆電話施設数, 加入電話申込積滞数).

資料 近畿電気通信局調

第28表 加入電信状況

加入数は年度末現在。

Table with columns for years (昭和44, 45, 46, 47) and categories (加入状況, 取扱状況). Includes sub-categories like '加入数', '年間申込数', '年度末積滞数'.

資料 近畿電気通信局調

第29表 国内有料発信電報数

第二部管内の合計。

Table with columns for years (昭和43, 44, 45, 46, 47) and months (4月 to 3月). Includes sub-categories like '直営局', '郵便局', 'その他'.

資料 近畿電気通信局調

第30表

都市別開通電話数および

本表は昭和48年3月31日現在によるものである。開通電話数には加入電話、業務用電話、地域団体加入電話(局線)、有線放送接続(衆電話を除く)合計をいう。

Table with columns for City/Office Name, Opened Telephone Numbers (Total, Residential, Public), Pending Numbers, and Penetration Rate (per 100 people). Rows include Osaka, Sakai, and other regional cities.

び申込積滞数、普及率

電話(回線)、ふくそう対策用市内着信専用(回線)、緊急通報用電話、委託公衆電話、普通公衆電話、局内公衆電話(特殊局内公衆電話を除く)合計をいう。

Table with columns for City/Office Name, Opened Telephone Numbers (Total, Residential, Public), Pending Numbers, and Penetration Rate (per 100 people). Rows include various cities like Matsuyama, Yamaguchi, and others.

第 31 表 府県別、道路実延長、自動車数、開通電話数等

本表はいずれも昭和48年3月末現在のもので、道路については規格改良済、未改良の合計、自動車数は登録車両数でトラック、バス、乗用車、特殊車、大型特殊自動車数の合計、輸送実績、貨物人員 開通電話は加入件数、郵便物は引受数の合計である。

都道府県名	道路の実延長	自動車の数	輸送実績				開通電話数	引受内国郵便物数
			輸送トン数		輸送人員			
			自動車	鉄道	自動車	鉄道		
千トン	千トン	千人	千人	件	千通			
全 国	1 048 496.0	16 803 190	5 203 418	197 324	26 283 139	16 386 370	23 304 355	10 369 937
北海道	67 193.8	920 943	381 470	30 220	1 654 800	243 788	887 518	543 551
青森	14 878.9	195 980	83 645	2 844	302 595	43 162	205 182	79 470
岩手	29 265.8	183 039	70 738	4 838	259 658	43 242	212 690	81 949
宮城	18 987.3	278 417	102 536	3 609	462 195	99 155	346 987	151 738
秋田	20 044.5	166 764	56 685	4 131	244 516	119 930	220 653	77 819
山形	11 530.1	204 445	65 561	2 050	219 724	46 255	233 553	75 790
福島	35 139.3	278 513	99 301	6 338	406 280	73 675	327 875	131 473
茨城	60 411.5	386 287	102 319	3 213	532 436	110 896	418 411	104 189
栃木	17 411.4	314 080	84 005	2 745	380 647	71 257	291 827	90 025
群馬	35 372.4	334 938	82 748	2 266	386 407	70 430	297 301	95 881
埼玉県	45 723.6	596 141	147 677	5 498	764 821	488 201	951 568	193 000
千葉県	33 921.9	533 685	133 246	3 527	751 999	554 523	781 266	193 190
東京都	21 114.7	2 004 820	476 172	9 756	3 709 960	5 851 472	3 712 220	2 990 748
神奈川県	12 056.6	865 403	249 521	13 374	1 889 146	1 445 766	1 448 233	381 673
新潟県	35 960.8	357 924	129 545	10 422	484 829	113 536	477 077	142 698
富山県	9 249.6	143 412	64 545	3 633	233 429	91 078	227 648	66 891
石川県	10 578.0	190 046	56 705	915	268 339	53 675	240 475	83 389
福井県	7 906.8	43 908	43 908	1 653	150 236	40 459	151 419	49 364
山梨県	9 699.2	143 412	31 775	1 455	166 205	34 620	166 449	59 056
長野県	47 422.2	375 227	109 641	2 251	436 784	104 576	330 447	165 559
岐阜県	26 384.6	392 951	123 635	3 144	431 044	111 606	368 342	123 172
静岡県	35 742.8	636 257	187 355	5 111	886 690	194 063	616 361	241 508
愛知県	34 288.3	1 246 712	339 924	6 849	1 654 968	688 829	1 260 631	491 658
滋賀県	22 654.6	260 487	82 959	4 340	331 470	137 105	289 232	93 866
京都府	9 327.2	154 041	41 697	2 019	207 021	82 793	170 792	59 519
大阪府	11 701.2	348 447	80 587	1 397	644 664	423 741	585 063	258 497
兵庫県	11 540.7	1 159 845	361 297	5 377	1 794 572	2 885 068	2 226 776	1 116 501
奈良県	23 867.5	632 238	193 336	5 711	1 097 748	838 893	1 146 207	367 087
和歌山県	13 032.5	136 135	42 045	222	200 181	143 184	232 614	68 926
鳥取県	13 053.6	158 843	48 842	1 289	214 201	83 984	231 284	69 685
島根県	6 782.4	75 644	29 149	918	130 833	22 905	108 662	41 500
岡山県	18 034.6	89 598	34 997	899	134 790	26 904	115 536	56 342
広島県	30 350.4	263 928	103 392	4 013	374 155	81 160	356 593	147 470
山口県	23 945.4	394 866	149 711	2 802	680 673	131 635	549 785	247 892
徳島県	12 623.0	202 516	75 181	10 376	359 905	74 145	253 933	116 492
香川県	12 870.1	113 553	40 915	286	147 572	26 445	148 994	53 358
愛媛県	8 380.2	130 237	47 674	535	166 753	50 418	157 922	70 944
高知県	14 811.8	176 068	65 545	1 068	233 768	57 420	258 441	95 828
福岡県	13 456.0	116 359	40 865	1 712	145 043	35 369	154 662	55 287
佐賀県	26 920.4	553 974	217 343	17 591	1 083 138	433 045	782 259	313 785
長門県	8 249.4	108 020	35 478	958	170 870	22 572	134 229	46 072
熊本市	17 318.2	138 738	46 802	545	377 273	33 150	246 110	93 257
大分県	20 767.4	212 380	69 624	2 680	343 496	49 830	242 150	110 305
宮崎県	13 564.0	158 638	47 609	1 101	251 858	41 431	229 775	81 047
鹿児島県	15 123.8	157 058	76 653	531	297 573	64 101	165 154	61 558
鹿嶋市	20 378.8	218 496	76 653	531	297 573	64 101	257 915	107 035
神奈川	4 391.9	189 777	...	-	...	-	89 177	23 893

資料 建設省道路局「道路統計年報」、運輸省大臣官房情報管理部「陸運統計要覧」、郵政省郵務局「郵政統計年報」、日本電信電話公社計画局「都市における電話概況」

第 12 章

商業および貿易